

2013年1月1日～2015年12月31日の間に 当科にて転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療を受けられた方へ

—「転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射の遡及的多施設共同研究」へのご協力をお願い—

研究責任者 川崎医科大学放射線腫瘍学 准教授 余田栄作
研究分担者 川崎医科大学放射線腫瘍学 講師 釋舎竜司

1. 研究の概要

転移性脳腫瘍に対し定位手術的照射もしくは分割での定位放射線治療を受けられた患者さんを対象として、治療効果・有害事象（副作用）などについて調査をいたします。この調査結果をもとに、今後同じような病状の患者さんに対して、より適切な治療を施行するための検討を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013年1月1日～2015年12月31日の間に川崎医科大学附属病院および共同研究機関で転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射を受けられた方を対象とします。川崎医科大学附属病院放射線科（治療）においては治療を受けられた約15名を研究対象とします。

2) 研究期間

2018年4月9日～2021年3月31日

3) 研究方法

2013年1月1日～2015年12月31日の間に当院において転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射を受けられた方を対象に、研究者が診療録に記載された情報（次項に記載）を収集・検討し、病状ごとの適切な治療方法について調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、腫瘍の個数・大きさ・部位、定位放射線照射の治療内容、治療後の経過、副作用等の発生状況、等

試料：使用しません

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

研究事務局・データセンター

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 原田堅

6) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または終了後5年が経過した日まで、川崎医科大学放射線腫瘍学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2019年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 放射線科（治療）

氏名：余田栄作

電話：086-462-1111 内線 25501（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-462-1111

<研究組織>

研究代表機関名 大阪府立急性期・総合医療センター

研究代表責任者 大阪府立急性期・総合医療センター 放射線治療科 島本茂利

研究参加施設 日本放射線腫瘍学研究機構（JROSG）に参加する国内多数の施設

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。